



卯は跳ねる！

いちよし証券
代表執行役社長

玉田 弘文

年始の重要行事にしていることがある。奈良県にある大神神社への参拝だ。

高田支店（奈良県大和高田市）に初めて課長として赴任した時に初参拝。かれこれ16年ほど前の話になる。個人的にそうした所縁のあった神社だが、実はいちよし証券としては70年以上参拝を続けていると聞いて驚いた。参拝後にいただいて帰るお礼は、かつて本社だった大阪支店の神棚にお祀りしている。これも70年以上続いている。出張の自粛などがあり年始に参拝できない期間もあったが、今年は2月には参拝できそうだ。

大神神社は、創祀に関わる伝承が『古事記』や『日本書紀』に記されていることから、日本最古の神社と言われている。ご祭神が三輪山に鎮まっているので、本殿を設けず、古代より人々は三輪山に直接祈りを捧げてきているという。現在でも社殿はなく拝殿の奥にある三ツ鳥居を通して拝む。

そして、この神社では御神体である三輪山への参拝である登拝ができる。三輪山はかつて禁足の山として入山が厳しく制限されていた。入山許可が下りるようにはなったが、水分補給以外の飲食とカメラによる撮影は禁止、道中の私語もできず、山内のことは他言無用とされている。また、かつては「靴」を履いて御神体を歩くのは神様に対して失礼だという理由から、裸足で登山するのが礼儀とされていた。したがって、登拝の内容につい

ては詳しくお話しできないが、往復約4キロの結構な勾配の坂道を歩くことになり、気持ちが改まる。ただ、ここ数年は新型コロナウイルス対策の一環として登拝は中止されている。



また、大神神社は兎との縁が深い。例祭である大神祭は崇神天皇の8年卯の日に始まったとされ、それ以来卯の日を神縁の日として祭りが行われてきた。さらに、ご祭神である大物主大神は大国主神と同一神と言われ、大国主神は因幡の白兔を助けた有名な神話がある。「卯」には、草木が萌え茂るという意味があり、方位は東、時刻は午前6時を指すことから、「日の出」「出発」などの事の始まりを表しているそう。象徴的なものとして「なで兎」という置物がある。青銅製のため戦時中の鉄の供出を免れて現在まで大切に保管されており、撫でると願い事をかなえてくれるという。

今年は「卯」年。『卯跳ねる』の格言通りの相場を祈願しつつ、当社の更なる挑戦を見守っていただこうと思っている。